



## 謹んで新年のご挨拶を申し上げます！

皆様の温かくも力強いご支援をいただき、区議として充実した11年目の春を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

本年年女である近藤まさ子は、これまで以上に皆様のご意見ご相談を真摯に受けとめ、ホーム区議として政策実現に全力で取り組んでまいります。

今後ともより一層のご支援をお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



## 港区議会公明党の最近の実績

### 「ランドセル代入学前に」!

これまで経済的に大変な家庭に支給される就学援助のうちランドセル等学用品費は、国の要綱の規定のため入学後にしか支給されませんでした。そこで、昨年3月、公明党国会議員の質問で、先ず国の要綱が改正され、更に昨年10月、区議会公明党が港区長や教育長に対し要望し委員会でも質問した結果、本年4月新入学生から入学前に支給されることになりました!



### 待機児童対策!

区議会公明党の要望に応え、区は保育事業者と土地所有者とを結ぶマッチング事業等を行い、待機児童緊急対策として補正予算を組み、平成30年4月1日に新橋2園、白金1園の小規模保育施設を開設します!(昨年4/1比577人定員拡大)



### クレジットカードで特別区民税の納付が可能に!

生活様式が多様化する中、税の収納方法については納付しやすい環境を整えていく必要性があることから、平成25年度決算特別委員会においてクレジットカードによる納付を導入することを提案!その結果、昨年12月に導入に向けた補正予算が生まれ、本年6月よりクレジット納付が開始されます!



### 食品ロス削減に向けた取組が着実に進んでいます!

区議会公明党は「食品ロス削減」に向け、イベントによる周知、パンフレット・チラシによる意識啓発、フードバンク事業の推進、教育現場で食育・環境教育を通じた「食品ロス」の普及・啓発などの取組強化について一貫して区に提案・要望をして参りました! 昨年12月6日には「食べきり強化月間イベント」が新橋SL広場で開催されました!



### これまで実現した主な事業

- \*「エコライフ・フェアMINATO」で展示パネルによる啓発運動
- \*防災備蓄食品更新時の活用
- \*「フードドライブ」事業の開催

## 近藤まさ子の実績

実績142

南麻布1丁目掲示板設置

実績143

この地域には町会の掲示板はありましたが休会中のため掲示物がなく、区の情報等がゲットできない地域でした!

『広報みなと』だけでは区の情報には周知できない! 安全安心の為に防災情報等の掲示も必要! 区の掲示板を設置して頂けないか! とのお一人の声から、地域の皆様に一軒一軒訪問してお声を集め、実現させることができました!!



歩道の分離ラインの色が薄くなり、保育園児や児童たちの通行の安全性を心配するお声を多く頂き、新たにラインを引いて頂きました!!(白金商店街)



# 平成 29 年 第 4 回定例会主な質問項目

平成 29 年 11 月 29 日～12 月 8 日開催



**就学前児童の保育・教育の質の確保を！**  
港区ではここ数年 23 区トップの出生率、さらに、若い世代の転入に伴い今後 10 年は児童や保育需要の増加も続く見通しです！

- 1 課題解決に向けた総合支所の体制強化を街づくり部門の体制強化の必要性について
- 2 子育て支援施設の積極的な誘致を厚生労働省・国土交通省の通知を踏まえた取組に力を入れ、待機児童対策を進めるべき
- 3 **就学前児童の保育・教育の質の確保を※右記参照**
  - (1) 0歳から3歳未満児の保育の質の確保を
  - (2) 就学前の教育活動の質の確保を
- 4 女性の発達障がい者支援を女性特有の困難さに気づき、寄り添う支援を
- 5 住宅宿泊事業法、いわゆる民泊新法の施行を見据え観光振興の視点も含めた港区の条例制定を
- 6 がん診断時からの緩和ケアの推進を
- 7 商店街での外国人観光客の受け入れ環境の整備を
- 8 品川駅周辺のまちづくりへの区のかかわりについて
- 9 東京都などと連携したお台場の水質改善について
- 10 コミュニティ・スクールの導入を
  - ア. コミュニティ・スクールの評価と課題
  - イ. 学校運営協議会制度の導入に向けた検討は

※左記より

区は待機児童解消に積極的に取り組んでいますが、保育の質に対する懸念の声を多く頂くようになりました。

昨年改定された「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」、「幼稚園教育要領」が本年 4 月から施行となることを踏まえ、全ての就学前施設での教育の質を確保し地域に開かれた教育を行うべきと質問！

↓ 改定の主な内容

- (1) 保育需要の多い 0～2 歳までの保育の重要性を強調！心身の発達に極めて重要な時期で、他者との関わりを初めて持つ。この時期の保育のあり方が、その後の自尊心や自己制御、忍耐力といった社会情動的スキルや「非認知的能力」\*①に差を生じさせる。
- (2) 保育所、認定こども園、幼稚園すべてが共通して、「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**」10項目\*②を目指して、小学校入学前の教育活動を行う(保育園でも教育活動)！

\*①「非認知的能力」 近年、世界においては乳幼児期の教育で必要になるのが、数がわかる、字が書けるといった IQ や学力テストで測れる「認知的能力」ではなく、目標に向かって頑張る力、人とうまく関わる力、感情をコントロールする力といった「非認知的能力」であると言われています。そして、幼少期にこの「非認知的能力」を身につけておくことが、大人になってからの幸せや経済的な安定につながるという研究結果も出され、今回の改定に反映されています！

\*②「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**」10項目

1. 健康な心と体 2. 自立心 3. 協同性
4. 道徳性・規範意識の芽生え 5. 社会生活との関わり
6. 思考力の芽生え 7. 自然との関わり・生命尊重
8. 数量・図形、文字等への関心・感覚
9. 言葉による伝え合い 10. 豊かな感性と表現

## 活動の記録 近藤まさ子のブログから



右から山本博司参議、高木美智代厚労副大臣、駒崎弘樹認定NPO フローレンス代表

近藤まさ子は、この 10 年余、医療的ケア児・者への支援充実に取り組んできたことで、山本博司参議から「永田町こども未来会議」にお声かけ頂き傍聴！

「医療的ケア児のさらなる支援を！」をテーマとした超党派の勉強会です！

★厚労省からは平成 30 年障害福祉報酬改定の検討状況について

★文科省、前田弘利医師からは「学校における医療的ケアの実施に関する検討会議」の進捗について厚労省・文科省、超党派国会議員が、当事者、事業者の現場の声を受け止めながら、政策検討がこのようなになっていることに感動しました！ 港区のさらなる支援充実を力尽くしてまいります！

## 民泊 「住宅宿泊事業に関する対応方針」策定

～港区は住宅宿泊事業が受け入れられて、共存共栄できるまちを目指します～

- ★住居専用地域及び文教地区においては家主不在型のみ春、夏、冬の期間の 97 日間だけ宿泊可能
- ★その他地域は年間 180 日以内宿泊可能
- ★区民意見募集期間は 12/21(木)～1/19(金)
- ★2 月の第 1 回定例会区議会に条例案が提出されます